such example is an inro (medicine case) in the Tokugawa Art Museum that has vegetal motifs typical of Islamic textiles. This inro was made for the feudal lord of the Owari Tokugawa family. As this family owned seventeenth-to-eighteenth-century Persian and Indian textiles that were presented to them by the Dutch East India Company, this inro was made to incorporate the vegetal design seen on Islamic textiles to satisfy the lord's taste for exotic objects. The albarello, a cylindrical ceramic storage jar that originated in the Islamic world, is another type of art object that indicates a relation between Islamic art objects and Japan. When Syrian albarello		of y of Academic resources						
Author 使用、由美子(Kamada, Yumiko) Publisher 度感義及大学 Publication year 2021 Jutice ジ事事項買査の研究成果実績報告書(2020.) JatC DOI 日本とイスラーム美術品がもたらされ、それに触発された作品も作られていた。今回調査したものに、 ペスラーム美術品がもたらされ、それに触発された作品も作られていた。今回調査したものに、 ペスラーム美術品がもたらされ、それに触発された作品も作られていた。今回調査したものに、 ペスラーム美術品がもたらされ、それに触発された作品も作られていた。今回調査したものに、 ペスラーム美術品がもたらされ、それに触発された作品も作られていた。今回調査したものに、 ペスラーム美術品がもたらされ、それに触発された作品も作られていた。今回調査したものに、 ペスラーム美術園のが置する江戸時代の印鑑がある。この印鑑には、イスラーム人類の花柄の模様が施さ も、金組丁が多月としてハシアやインドの布がいくつもあり、この印鑑に用いられたものと思報似す 花柄のものもある。それなふまえると、満主が、自らのコレクションにあるペハシアやインドの 布に触発され、そのデザインを用いた異国風の印籠を作らせたご能活の考査を休息を、そのほか、 今回はコロナにより文献だけの調査になってしまったが、アルバレロも日本とイスラーム美術の かかわりを示すものとして興味深い。といううも、本来、アルバレロセイスラーム画でつくらも た間美好の円筒形の置て、そのながご差しなどを入れて輸送するために用いられたが、14世紀ころ からイタリアなどに運ばれるとヨーロッパで珍重され、そりを付けたえ、そしてヨーロッ パでは、素品を入れる登として支集し、薬局などにも置かれた。オランダのデルノトでもアルバ レロは作られたが、これが江戸時代にオランダ東インド会社によって日本に運ばれると、茶人た ちに大差しとして好まれ、日本でも複做品が作られた。コッシスの、パフラーム美術品、ならび にイスラームの正装品とかかわりの深いヨーロッパの工芸品が江戸時代の日本へがそれらをどのルドたいた 、 江戸時代の日本人がそれらをどのように捉えていたかについては、今後考察を深めていきたい * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * *	Title	イスラーム美術と日本の美術工芸とのかかわりについての基礎的研究						
Publisher 慶應義塾大学 Publication year 2021 Jittle 学事振興資金研究成果実績報告書 (2020.) JaLC DOI Abstract 日本とイスラーム美術のかかわりはほとんど研究されていない。しかし、実際には江戸時代には イスラーム美術品がちたらされ、それに触発された作品も作られていた。今回調査したものに、 徳川美術館の所蔵する江戸時代の印職がある。この印職には、イスラーム風の花柄の模様が加され、 、虚観に美術館の所蔵する江戸時代の印職とはの象が貫象でしたるのためには尾張徳川家がオランダ東インド 会社から入手したペルシアやインドの布がいくつもあり、この印職に用いられたものと類似する 花柄のものもある。それをふまえると、溜主が、自らのコレクションにあるペルシアやインドの 布に触発され、そのデザインを和いた実園回の印趣を作らせた可能性がある。もしそうであれば、 、江戸時代に、イスラーム美術品に触発されて作られた工芸品の貴重な作例となる。そのほか、 今回はコローナにより文献だけの調査になってしまったが、アルバレロはイスラーム人類でつくられ た陶製の円筒形の壺で、そのなかに薬品などを入れて軸送するたむ用いられたが、14世紀ごろ からイタリアなどに運ばれるとヨーロッパで珍重され、その横做品が作られた。そしてヨーロッ パでは、薬品を入れる壺として定着し、薬局などにも置かれた。オランダのデルフトでもアルバ レロは作られたが、これが江戸時代にオランダ東インド会社によって日本に運ばれると、茶人た ちに水差しとして好まれ、日本でも模做品が作られた。このように、イスラーム美術品、ならび にイスラームの工芸品とかかわりの深いヨーロッパの工芸品が江戸時代の日本で享受されていた 。江戸時代の日本人がそれらをどのように捉えていたかたついては、今後考察を深めていきたい 。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	Sub Title	Study on the relationship between Islamic art and Japanese art						
Publication year 2021 Jutile 学事振興資金研究成果実績報告書 (2020.) JaLC DOI 日本とイスラーム美術品がたらされ、それに触発された作品も作られていた。今回調査したものに、 信川美術館の所蔵する江戸時代の印籠がある。この印籠には、イスラーム風の花柄の裸様が施され、金細工が多用されているため、一般的な江戸時代の印籠とは印象が異なる。徳川美術館は、 尾張徳川家のコレクションを継承しているのだが、そのなかに定尾感徳川家がオランダ東インド 会社から入手したペルシアやインドの布がいくつもあり、この印籠に用いられたものと類似する 花柄のものもある。それをふまえると、溜主が、自らのコレクションにあるペルシアやインドの 布に触発され、そのデザインを用いた異国風の印籠をたりて可能にがある。もしくうであれば 、江戸時代に、イスラーム美術品に触発されて作られた工芸品の貴重な作例となる。そのほか、 今回はコロナにより文献だけの調査になってしまったが、アルバレロも日本とイスラーム美術の かかわりを示すものとして実味深い。というのも、本来、アルバレロはイスラーム顕でつくられ た陶製の阿部形の意で、そのなかに変品などを入れて輸送するために用いられたが、1世紀ごろ からイタリアなどに運ばれるとヨーロッパで珍重され、その模倣品が作られた。そしてヨーロッ パでは、薬品を入れる壺として定着し、薬局などにも置かれた。オランダのデルフトでもアルバ レロは作られたが、これが江戸時代にオランダ東インド会社によって日本に選ばれると、茶人た ちに水差しとして好まれ、日本でも模倣品が作られた。このように、イスラーム美術品、ならび にイスラームの工芸品とかかわりの深いヨーロッパの工芸品が江戸時代の日本で享受されていた。 い、ご戸時代の日本人がそれらをどのように捉えていたかについては、今後考察を深めていきたい 。 いた中時代の日本人がそれらをどのように捉えていたかについては、今後考察を深かていきたい 。 ・ relationship between Japan and Islamic art has not been well studied. However, in reality, textiles and artworks from the Islamic world were brought to Japan in the Edo period. At that time, inspired by such Islamic art biget in the Tokugawa Art Museum that has vegetal motifs typical of Islamic textiles. This inro was made to incorporate the vegetal design seen on Islamic textiles to astisfy the lordy taste for exotic objects. The relationship between Japan and Islamic art bigets and Japan. When Syrian albarello were brought to Italy as containers for liquid or other substances, people in Europe were fascinated by these beautiful storage jars. Hence initiations of Islamic abarello were were serversively made in Europe. When albarello made in Duch Delft were were torough to Edo-period Japan by the Dutch, they were used as water containers for the ta caremony. Thus both Islamic art objects and European an objects inspired by Islamic artifacts were enjoyed by people in Ed	Author	鎌田, 由美子(Kamada, Yumiko)						
Jittle 学事振興資金研究成果実績報告書 (2020.) JaLC DOI Abstract 日本とイスラーム美術品がわたりはほとんど研究されていない。しかし、実際には江戸時代には イスラーム美術品がもたらされ、それに触発された作品も作られていた。今回調査したものに、 イスラーム美術品がもたらされ、それに触発された作品も作られていた。今回調査したものに、 イスラーム美術品がもたらされ、それに触発された作品も作られていた。今回調査したものに、 様川美術館の所蔵する江戸時代の印籠がある。この印籠には、イスラーム風の花柄の模様が施さ れ、金細工が多用されているため、一般的な江戸時代の印籠とは印象が現なる。徳川美術館は、 尾張徳川家のコレクションを継承しているのだが、そのなかには尾張徳川家がオランダ東インド 会社から入手したペルシアやインドの布がいくつもあり、この印籠に用いられたものと類似する 花柄のものもある。それをふまえると、満主が、自らのコレクションにあるペルシアやインドの 布に触発され、そのデザインを用いた異国風の印籠を作らせた可能にがある。もしそうであれば、 、江戸時代に、イスラーム美術品に触発されて作られた工芸品の貴重な作例となる。そのほか、 今回はコロナにより文献だけの調査になってしまったが、ノルバレロ日本スクスラーム美術の かかわりを示すものとして興味深い。というのも、本来、アルバレロ日本とイスラーム美術 など、通じ口がたより支献だれるとヨーロッパで珍重され、その模似品が作られたが、14世紀ごろ からイタリアなどに運ばれるとヨーロッパで珍重され、その模似品が作られた。そしてヨーロッ パでは、案品を入れる壺として定着し、薬局などにも置かれた。オランダのデルフトでもアルバ し口は作られたが、これが江戸時代にオランダ東インド会社によって日本に運ばれると、茶人た ちに水差しとして好まれ、日本でも模做品が作られた。このように、イスラーム美術品、ならび にイスラームの工芸品とかかわりの深いヨーロッパの工芸品が江戸時代の日本で享受されていた 。、江戸時代の日本人がそれらをどのように捉えていたかについては、今後寒稼な深めていきたい 。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	Publisher	慶應義塾大学						
JaLC DOI Abstract 日本とイスラーム美術のかかわりはほとんど研究されていない。しかし、実際には江戸時代には イスラーム人美術品がたたらされ、それに触発された作品も作られていた。今回調査したものに、 徳川美術館の所蔵する江戸時代の印鑑がある。この印鑑には、イスラーム風の花柄の模様が施さ れ、金細工が多用されているため、一般的な江戸時代の印鑑が自取参加具なる。徳川美術館は、 尾張徳川家のコレクションを継承しているのだが、そのなかには尾張徳川家がオランダ東インド 会社から入手したペルシアやインドの市がいくつもあり、この印鑑に用いられたものと類似する 花柄のものもある。それをふまえると、藩主が、自らのコレクションにあるペルシアやインドの 布に始発され、そのデザインを用いた異国風の印鑑を作らせた可能性がある。もしそうであれば、 、江戸時代に、イスラーム美術品に触発されて作られた工芸品の貴重な作例となる。そのほか、 今回はコロナにより文敵だけの調査になってしまったが、アルバレロも日本とイスラーム美術の かかわりを示すものとして興味深い。というのも、本来、アルバレロも日本とイスラーム美術の かかわりを示すものとして興味深い。というのも、本来、アルバレロもイスラーム細でつくられ た陶製の円筒形の壺で、そのなかに薬品などを入れて輸送するために用いられたが、14世紀ころ からイタリアなどに選ばれるとヨーロッパで珍重され、その模倣品が作られた。そしてヨーロッ パでは、薬品を入れる巻として定差し、薬局などにも置かれた、オランダのデルフトでもアルバ、 し口は作られたが、これが江戸時代にオランダ東インド会社によって日本に運ばれると、茶人た ちに水差しとして好まれ、日本でも複倣品が作られた。このように、イスラーム美術品、ならび にイスラームの工芸品とかわりの深いヨーロッパの工芸品が江戸時代の日本で享をされていた。 、江戸時代の日本人がそれらをどのように捉えていたかについては、今後考察を深めていきたい。 。 The relationship between Japan and Islamic art has not been well studied. However, in reality, textiles and artworks from the Islamic world were brought to Japan in the Edo period. At that time, inspired by such Islamic art objects, Japanese artists and craftsmen made their own artworks. One such example is an inro (medicine case) in the Tokugawa Art Museum that has vegetal motifs typical of Islamic textiles. This inro was made for the feudal Iord of the Owari Tokugawa family. As this family owned seventeenth-to-eighteenth-century Persian and Indian textiles that were presented to them by the Dutch East. India Company, this inro was made to incorporate the vegetal design seen on Islamic textiles to satisfy the Iord's taste for exotic objects. The albarello, a cylindrical ceramic storage jar that originated in the Islamic world, is another type of art object that indicates are aletion between Islamic art objects and Japan. When Syrian albarello were brought to Italy scontainers for lie tas ceramony. Thus both Islamic art objects and European art objects inspired by Islamic artifacts were enj	Publication year	2021						
Abstract 日本とイスラーム美術のかかわりはほとんど研究されていない。しかし、実際には江戸時代には イスラーム美術品がもたらされ、それに触発されて作品も作られていた。今回調査したものに、 徳川美術館の所蔵する江戸時代の印蔵がある。この印範には、イスラーム風の花柄の模様が施さ れ、金細工が多用されているため、一般的な江戸時代の印職とは印象が異なる。徳川美術館は、 尾張徳川家のコレクションを継承しているのだが、そのなかには居張徳川家がオランダ東インド 会社から入手したベルシアやインドの布がいくつもあり、この印範に用いられたのと5類似する 花柄のものもある。それをふまえると、藩主が、自らのコレクションにあるペルシアやインドの 布に触発され、そのデザインを用いた実国風の印範を作らせた可能性がある。もしそうであれば 、江戸時代に、イスラーム美術品に触発されて作られた工芸品の貴重な作例となる。そのほか、 今回はコロナにより文範だけの調査になってしまったが、アルバレロは日本とイスラーム美術の かかわりを示すものとして興味深い。というのも、本来、アルバレロはイスラーム画でつくられ た陶製の円筒形の壺で、そのなかに薬品などを入れて輸送するために用いられたが、14世紀ごろ からイタリアなどに運ばれるとヨーロッパで珍重され、その模倣品が作られた。そしてヨーロッ パでは、薬品を入れる壺として定着し、薬局などにも置かれた。オランダのデルフトでもアルバレロは作られたが、これが江戸時代にオランダ東インド会社によって日本に運ばれると、茶人た ちに木差しとして好まれ、日本でも模倣品が作られた。このように、イスラーム美術品、ならび にイスラームの工芸品とかかりりの深いヨーロッパの工芸品が江戸時代の日本で享受されていた。 。 The relationship between Japan and Islamic art has not been well studied. However, in reality, textiles and artworks from the Islamic world were brought to Japan in the Edo period. At that time, inspired by such Islamic art objects, Japanese artists and craftsmen made their own artworks. One such example is an inro (medicine case) in the Tokugawa At Museum that has vegetal motifs typical of Islamic textiles. This inro was made for the feudal Iord of the Owari Tokugawa family. As this family owned seventeenth-to-eightenth-contury Persian and Indian textiles that were presented to them by the Dutch East India Company, this inro was made to incorporate the vegetal design seen on Islamic textiles to satisfy the Iord's taste for exotic objects. The albarello, a cylindrical ceramic storage jar that originated in the Islamic world, is another type of art object that indicates are aleiton between uslamic art objects and Japan. When Syrian albarello were brought to Italy as containers for liquid or ther substances, people in Europe were fascinated by these beautiful storage jar. Hence imitations of Islamic at objects and Japan. When Syrian albarello were brought to Italy as containers for liquid or the substalanic at objects and Euro	Jtitle	学事振興資金研究成果実績報告書 (2020.)						
イスラーム美術品がもたらされ、それに触発された作品も作られていた。今回調査したものに、 徳川美術館の所蔵する江戸時代の印雛がある。この印薬には、イスラーム風の花柄の模様が施され、 れ、金細工が多用されているため、一般的な江戸時代の印籠とは印象が異なる。徳川美術館は、 尾張徳川家のコレクションを継承しているのだが、そのなかには尾張徳川家がオランダ東インド 会社から入手したペルシアやインドの布がいくつもあり、この印鑑に日い多が大アやインドの 市板のものもある。それをぶまえると、第主が、自らのコレクションにあるペルシアやインドの 市に触発され、そのデザインを用いた異国風の印籠を作らせた可能性がある。もしそうであれば、 江戸時代に、イスラーム美術品に触発されて作られたご芸品の貴重な作例となる。そのほか、 今回はコロナにより文献だけの調査になってしまったが、アルバレロも木とイスラーム美術の かかりを示すものとして興味深い。というのも、本来、アルバレロはイスラーム風でつくられた陶製の円筒形の壺で、そのなかに薬品などを入れて輸送するために用いられたが、4000000000000000000000000000000000000	JaLC DOI							
Notes Genre Research Paper	Abstract	イスラーム美術品がもたらされ、それに触発された作品も作られていた。今回調査したものに、 徳川美術館の所蔵する江戸時代の印籠がある。この印籠には、イスラーム風の花柄の模様が施さ れ、金細工が多用されているため、一般的な江戸時代の印籠とは印象が異なる。徳川美術館は、 尾張徳川家のコレクションを継承しているのだが、そのなかには尾張徳川家がオランダ東インド 会社から入手したペルシアやインドの布がいくつもあり、この印籠に口いられたものと類似する 花柄のものもある。それをふまえると、藩主が、自らのコレクションにあるペルシアやインドの 布に触発され、そのデザインを用いた異国風の印籠を作らせた可能性がある。もしそうであれば、 江戸時代に、イスラーム美術品に触発されて作られた工芸品の貴重な作例となる。そのほか、 今回はコロナにより文献だけの調査になってしまったが、アルバレロも日本とイスラーム美術の かかわりを示すものとして興味深い。というのも、本来、アルバレロも日本とイスラーム美術の かかわりを示すものとして興味深い。というのも、本来、アルバレロはイスラーム圏でつくられ た陶製の円筒形の壺で、そのなかに薬品などを入れて輸送するために用いられたが、14世紀ごろ からイタリアなどに運ばれるとヨーロッパで珍重され、その模倣品が作られた。そしてヨーロッ パでは、薬品を入れる壺として定着し、薬局などにも置かれた。オランダのデルフトでもアルバ レロは作られたが、これが江戸時代にオランダ東インド会社によって日本に運ばれると、茶人た ちに水差しとして好まれ、日本でも模倣品が作られた。このように、イスラーム美術品、ならび にイスラームの工芸品とかかわりの深いヨーロッパの工芸品が江戸時代の日本で享受されていた。 江戸時代の日本人がそれらをどのように捉えていたかについては、今後考察を深めていきたい ら The relationship between Japan and Islamic art has not been well studied. However, in reality, textiles and artworks from the Islamic world were brought to Japan in the Edo period. At that time, inspired by such Islamic at objects, Japanese artists and craftsmen mate their own artworks. One such example is an inro (medicine case) in the Tokugawa Art Museum that has vegetal motifs typical of Islamic textiles. This inro was made for the feudal lord of the Owari Tokugawa family. As this family owned seventeenth-to-eighteenth-century Persian and Indian textiles that were presented to them by the Dutch East India Company, this inro was made to incorporate the vegetal design seen on Islamic textiles to satisfy the lord's taste for exotic objects. The albarello, a cylindrical ceramic storage jar that originated in the Islamic world, is another type of art object that indicates a relation between Islamic at objects and Japan. When Syrian albarello were brought to Italy as containers for liquid or other substances, people in Europe were fascinated by these beautiful storage jars. Hence imitations of Islamic abarello, a cylindrical ceramic storage jar that originated in the Islamic art objects and berope. Whe						
Genre Research Paper	Notes							
URL https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=202000008-20200137		Research Paper						
	URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=202000008-20200137						

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって 保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

2020 年度 学事振興資金(個人研究)研究成果実績報告書

研究代表者	所属	経済学部	職名	准教授	按电缆	200				
	氏名	鎌田 由美子	氏名(英語)	Yumiko Kamada	→ 補助額	200	(B) 千円			
·····································										
イスラーム美術と日本の美術工芸とのかかわりについての基礎的研究										
研究課題(英訳)										
Study on the relationship between Islamic art and Japanese art										
1. 研究成果実績の概要										
日本とイスラーム美術のかかわりはほとんど研究されていない。しかし、実際には江戸時代にはイスラーム美術品がもたらされ、それ に触発された作品も作られていた。今回調査したものに、徳川美術館の所蔵する江戸時代の印籠がある。この印籠には、イスラーム風 の花柄の模様が施され、金細工が多用されているため、一般的な江戸時代の印籠とは印象が異なる。徳川美術館は、尾張徳川家の コレクションを継承しているのだが、そのなかには尾張徳川家がオランダ東インド会社から入手したペルシアやインドの布がいくつもあ り、この印籠に用いられたものと類似する花柄のものもある。それをふまえると、藩主が、自らのコレクションにあるペルシアやインドの 布に触発され、そのデザインを用いた異国風の印籠を作らせた可能性がある。もしそうであれば、江戸時代に、イスラーム美術品に触 発されて作られた工芸品の貴重な作例となる。そのほか、今回はコロナにより文献だけの調査になってしまったが、アルバレロも日本と イスラーム美術のかかわりを示すものとして興味深い。というのも、本来、アルバレロはイスラーム圏でつくられた陶製の円筒形の壺 で、そのなかに薬品などを入れて輸送するために用いられたが、14 世紀ごろからイタリアなどに運ばれるとヨーロッパで珍重され、その 模倣品が作られた。そしてヨーロッパでは、薬品を入れる壺として定着し、薬局などにも置かれた。オランダのデルフトでもアルバレロは 作られたが、これが江戸時代にオランダ東インド会社によって日本に運ばれると、茶人たちに水差しとして好まれ、日本でも模倣品が作 られた。このように、イスラーム美術品、ならびにイスラームの工芸品とかかわりの深いヨーロッパの工芸品が江戸時代の日本										
		2.研究	成果実績の概	要(英訳)						
The relationship between Japan and Islamic art has not been well studied. However, in reality, textiles and artworks from the Islamic world were brought to Japan in the Edo period. At that time, inspired by such Islamic art objects, Japanese artists and craftsmen made their own artworks. One such example is an inro (medicine case) in the Tokugawa Art Museum that has vegetal motifs typical of Islamic textiles. This inro was made for the feudal lord of the Owari Tokugawa family. As this family owned seventeenth-to-eighteenth-century Persian and Indian textiles that were presented to them by the Dutch East India Company, this inro was made to incorporate the vegetal design seen on Islamic textiles to satisfy the lord's taste for exotic objects. The albarello, a cylindrical ceramic storage jar that originated in the Islamic world, is another type of art object that indicates a relation between Islamic art objects and Japan. When Syrian albarello were brought to Italy as containers for liquid or other substances, people in Europe were fascinated by these beautiful storage jars. Hence imitations of Islamic albarello were used as water containers for the tea ceremony. Thus both Islamic art objects and European art objects inspired by Islamic artifacts were enjoyed by people in Edo-period Japan.										
3.本研究課題に関する発表										
発表者 (著者・	皆氏名 講演者)	発表課題名 (著書名・演題)		発表学術誌名 著書発行所・講演学会)	学術誌発 (著書発行年月	行年 「・講	月 演 年月)			
鎌田由美子		祇園祭を飾るインド絨毯—2 代の日本とイスラーム染織品	I戸時 徳川美		2020 年 9 月 26					
鎌田由美子				Society of America 17th al Symposium	2020 年 10 月 1	7日				
鎌田由美子		日本にもたらされたイスラー」 品—京都祇園祭の絨毯を中の		マーミイ	2020 年 10 月 2	4日				